

長野市復興だより ワン・ハート

ONE HEART



有事に機能する 「コミュニティタイムライン」を目指して

長沼地区
住民自治協議会

千曲川と浅川に囲まれた低平地にある長沼地区は、歴史的に水害に見舞われており、地域住民の防災意識が極めて高い地域です。平成26年度に内閣府の「地区防災計画モデル地区」に選ばれたのを契機に、これまで活発な防災への取り組みが行われ、平成27年4月には「長沼地区防災計画」が策定されました。策定から3年を経て見直しを計画していた最中、令和元年東日本台風による水害が発生。地区内で2名の尊い命が犠牲となりました。その反省に立ち、令和2年度から西澤清文区長(現相談役)らを先頭に、地区防災計画の見直しに着手。10月13日には長沼4区(大町・穂保・津野・赤沼)の区長と市消防団長沼分団など関係者による「防災・減災まちづくり座談会」を立ち上げ、まず、台風災害の統括を徹底的に行いました。そして、西澤さんが試作した「東北三地区洪水対応タイムライン(長沼地区版)」をもとに「長沼地区コミュニティタイムライン(本部試行版)」を作成。流域警戒ステージに沿って、誰が、どんな情報を、どんな手段で伝えるのかを時系列で整理しました。例えば、「流域警戒ステージ2(災害発生の概ね2日前)」では、台風説

明会の内容伝達を受け、災害対策本部設置、個人財産(車・農機具等)の待避先を確認。「流域警戒ステージ3(概ね1日前)」では、本部長は早期避難を呼びかけるとともに、他の自治協と災害対策本部移転について調整。「流域警戒ステージ4(当日)」では、警戒レベル3及び4の情報を受け、災害対策本部の移転指示、地区内からの避難指示を徹底。伝達手段には従来の同報無線に加え、誰もが聴き逃すことのないように、サイレン、軽トラ車載アンプ・スピーカーを用いることとしました。「コミュニティタイムライン」の作成は目的ではなくて手段。今年8月中旬の豪雨の際には実際に運用し、新たな課題が見えました。今後も運用と検証を繰り返し、改善していきたいと思ふ」と、西澤さん。改訂版の「長沼地区防災計画」は令和3年10月に地区内全戸配布予定です。

[INFORMATION]

長沼地区住民自治協議会

長野市大字穂保941
長沼支所仮設庁舎内
TEL.026-217-2262
<https://www.naganuma-ju.com/>

被災者の皆さまへ

①住宅と建築物に関する総合相談会を開催します

建築士が、住宅と建築物に関する具体的課題や問題に対して相談に応じると共に、公営住宅等に関する相談にも応じます。相談は無料、予約制(先着順)です。

| | |
|---------------|---|
| 日時・場所 | 10月16日(土)10:00~13:00 豊野公民館 |
| お申し込み方法 | 申込書に必要事項をご記入いただき、10月13日(水)までにお申し込みください。 ・郵送、ファクス、Eメールの場合:長野県建築相談連絡会へ ・窓口持参の場合:建築指導課(第2庁舎7階)へ ※コロナウイルス感染症拡大防止のため、郵送等による申込にご協力ください。 |
| お申し込み・お問い合わせ先 | 長野県建築相談連絡会(事務局:(公社)長野県建築士会) TEL: 026-235-0561 〒380-0872長野市大字南長野字宮東426-1 FAX: 026-232-2588 e-mail:n-shikai@avis.ne.jp ※なお、申込書は建築指導課(第2庁舎7階)、豊野・柳原・長沼・篠ノ井・松代の各支所でお配りするほか、以下のホームページにご用意しています。 長野県建築相談連絡会: http://www.nagano-kenchikushikai.org/soudan/ 長野市: https://www.city.nagano.nagano.jp |

②住宅金融支援機構からのお知らせ

令和元年東日本台風の災害復興住宅融資の受付期限が延長になりました。



延長前の期限:令和3年10月12日まで → **延長後の期限:令和4年11月30日まで**

ご相談は、お客さまコールセンター(災害専用ダイヤル)0120-086-353(通話無料)へ

※災害復興住宅融資の受付期限は、原則として、り災日から2年間ですが、被災者生活再建支援金(加算支援金)の申請期限の延長等により、延長する場合があります。

③被災者のための「こころの“ホッと”相談」を開催します

話すことで「ホッとする」「スッキリする」そんなことはありませんか?

今もずっと抱えているあなたの思いや悩みをお話してください。心の専門家(心理カウンセラー)がお聴きし相談に応じます。

| | |
|---------------|---|
| 日時・場所 | 10月9日(土)9:00~12:00 東部保健センター 10月16日(土)9:00~12:00 犀南保健センター |
| 内容 | 面接・電話相談(いずれも予約制で1人40分程度) |
| 定員 | 各8人(先着順) |
| お申し込み・お問い合わせ先 | 長野市保健所健康課 TEL: 026-226-9965(月~金曜日(祝休日除く)8:30~17:15) |

④生活支援相談員が皆さまのご自宅を訪問します

生活支援相談員が巡回訪問し、被災された皆さまの孤立防止に向けた見守りや、日常生活や今後の生活に向けたご相談に応じます。お問い合わせ、ご相談等がございましたらお気軽にご連絡ください。

| | |
|---------|---|
| お問い合わせ先 | 社会福祉法人長野市社会福祉協議会 長野市生活支援・地域ささえあいセンター 〒380-0813 長野市大字鶴賀緑町1714-5 長野市ふれあい福祉センター2階 TEL: 026-219-5251 受付時間:月~金(祝日・年末年始を除く)8:30~17:00 |
|---------|---|

⑤長野市復興祈念事業 がんばろうNAGANO2021

台風災害への支援活動を通じて築かれた人の絆を育むことで、今後の復興を祈念するとともに、復旧・復興状況を広く発信し、地域経済の活性化に寄与するため、「がんばろうNAGANO2021」を昨年度に続いて実施します。今回は、次世代を担う若い皆さんや近隣の被災市町とも連携しながら被災地を応援します。

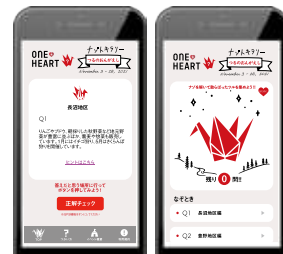
被災地の今を刻む パンフレットとスマートフォンサイトでの地域紹介

「被災地の復旧・復興状況」と「地域の紹介」をまとめて被災地などを紹介します。スマートフォンサイトでは、場所にちなんだ謎を解きながら各地を巡ることができ、参加者には記念品のほか、抽選で宿泊券などのプレゼントを差し上げます。

- パンフレット 10月中旬から市内・須坂市・千曲市・小布施町の観光施設などで配布
- 謎解きラリー GPS機能を使って11月3日から11月28日まで開催します。スマートフォンがなくても参加できます。



アクセスはこちら



被災地を応援 復幸BOX(ふっこうボックス)の販売

被災企業の商品や被災地区の物産、被災地の素材を使った商品、コラボ商品などを感謝の気持ちも一緒に詰め合わせて販売します。(税込み5千円)

- 販売場所 アグリながぬま・りんごの湯・成田園・ロイヤルホテル長野・松代荘のほかインターネット販売も行います。
- 販売期間 11月3日～28日(インターネット販売は令和4年1月31日まで)
※売り切れ次第終了



※イメージです

お問い合わせ先

いまこそ応援がんばろうNAGANO2020実行委員会(復興推進課内)
TEL:026-224-9728



地域の皆さんをつなぐ地域公民館 ～復旧・再開情報～

地域の交流・活動拠点となる地域公民館。令和元年東日本台風により被災地区の一部公民館では、床上浸水の被害を受けましたが、長野市地域公民館災害復旧支援金などにより令和2年度中に復旧工事が完了しました。地域に関係する多くの皆さんが利用される地域公民館の復旧状況を順番にお伝えします。

穂保研修センター(長沼地区)



穂保区長
米沢 啓史さん
住民どうしのつながりを大切にしていきたいです。



復旧前



復旧後

豊南町公会堂(豊野地区)



豊野区長
善財 孝文さん
公会堂を拠点にして、再び元気な地区活動ができるよう願っています。



復旧前



復旧後

15



この場所で仕事ができることに感謝して

長野新幹線車両センターは、北陸新幹線(長野経由)の安全な走行のために車両保全や管理を行う施設です。令和元年東日本台風による千曲川の氾濫等の影響でセンター構内および新幹線車両が冠水するなど設備等に甚大な被害を受け、復旧への取り組みを続けています。被災状況や復旧の現状について、滝沢和浩所長にお話を伺いました。

東日本旅客鉄道株式会社
新幹線統括本部
長野新幹線車両センター
滝沢和浩 さん

まさかの冠水

長野新幹線車両センターの構内には運転事務所、車両の検査を行う仕業交番検査庫、通信機器室、新幹線の車輪を削正するための車輪研削庫など様々な施設・設備があります。令和元年東日本台風が直撃した10月12日は、新幹線を計画運休し、午前中で運行を取りやめ、夕方にはE7系の新幹線10編成120両が入庫していました。翌日には台風が過ぎて運転が再開できるだろうと、社員、守衛含め28名が事務所に待機していました。避難指示が出され、全員が上階への避難をしていた13日未明に千曲川の堤防が決壊。4時半ごろに駐車場まで水が押し寄せ、電源は非常電源に切り替わりました。その後、1時間ほどで1



運転事務所からの全景
(2019年10月13日撮影)

階の天井まで水が回りました。関連会社を含め避難していた社員については、夜の10時過ぎに自衛隊のボートで救助されました。留置していた新幹線10編成は肘掛けのあたりまで浸水し、2編成は脱線。構内の施設もすべて浸水しました。

JRのネットワークを駆使しての復旧活動

水が引いた10月14日以降は、毎日100名規模

の社員等を動員し、泥の撤去作業を行いました。プールを作り、バキュームカーで吸引した泥水と乾いた土と混ぜて固めてダンプで運び出す作業を繰り返しました。その後10本の新幹線の入換えや廃車処理を行う際には、新潟の車両センターで使っていたエンジンで動く牽引車を借り、車両を切り離し牽引して動かしました。脱線した2編成の脱線復旧作業は困難が予想されました



脱線復旧作業の様子

が、JR東日本のネットワークの力を借りて、ジャッキアップし横送りして載線させるという方法で、脱線復旧を行い、それぞれの編成にかかる作業を7日間程度で完了することができました。

地域とともに、完全復旧を目指して

若手社員を中心に、地域の皆さんを元氣付け、感謝の気持ちを伝えようと、センター入り口に「がんばろう赤沼」「がんばろう豊野」の横断幕を取り付け、区長さんたちに来ていただいて除幕式を行いました。また、11月には赤沼地区のりんご農家さんにも元氣を出してもらおうと、りんごを長野駅から新幹線で運び、上野駅のコ

ンコースでお客様に配布しながら地域の復旧状況を伝える取り組みも行いました。



上野駅コンコースでのりんご配布の様子

12月25日には仕業交番検査庫が復旧し、それまで新潟、仙台、東京や在来線の車両センターへ派遣された社員が戻り、残って廃車の作業に当たっていた社員とともに本来の新幹線のメンテナンスができるようになりました。社員全員がこの赤沼で自分たちの仕事ができるありがたさを実感しました。さらに、今年5月には着発収容線全線が使えるようになりました。車輪研削庫、臨時修繕庫の復旧はこれからですが、復旧のために尽力してくれた皆さんに感謝し、これからも安全・安心な新幹線車両を提供するために頑張っていきたいと思ひます。



「がんばろう赤沼・豊野」の横断幕



長野市復興だより ワン・ハート

ONE HEART

Issue 14 令和3年10月 【発行】長野市企画政策部復興局復興推進課
電話:026-224-9728 e-mail:fukko@city.nagano.lg.jp
詳しい情報、市からのお知らせは、右記のURLからご確認願ひます。URL:https://www.city.nagano.nagano.jp/

R70

古紙配合率70%以上の再生紙を使用しています